

施策名

302 港とふれあう機会の拡大

施策の目的

県民・市民にとっての四日市港とのふれあいがより多くの機会において実現している という状態にします。

施策の数値目標と達成状況

展望展示室の入場者数	2009年度 実績値	34,443 人	達成 状況	B
	2010年度 目標値	37,000 人		
	2010年度 実績値	36,317 人		

達成状況の説明：目標が達成できなかったが、前年度より改善した

【目標項目の説明】

- ・ポートビル展望展示室「うみてらす 14」への年間の延べ入場者数。

2010年度における取組と成果等

- 多くの県民・市民に港に親しんでいただくため、「四日市港まつり」を実施したほか、四季のイベント（「花火大会見学会」「クリスマスコンサート」「初日の出を見る会」「こにゅうどうくんがやってくる」など）の開催に加え、三重県観光連盟と連携した産業観光スタンプラリーへの参加等により、多くの県民・市民に来港していただきました。
- 展望展示室については、従来の土曜日に加え日曜・祝日（7月～11月）を開館時間延長日とし、夜景観賞などに対応しました。また、憩いの場の提供や教育機能等を促進するため、社会見学・遠足の受入れの充実（県内外の小中学校等 141 校 8,977 人が入場）やイベント開催に合わせた無料開放など、来館者増に努めました。が、わずかに目標達成には至りませんでした。
- 四日市港の魅力や役割などを知っていただくため、「四日市港ニュース」の配布やホームページの充実、生活情報誌及び報道機関への情報提供等広報活動の充実に努めました。
- 四日市港の歴史やしくみ、産業や物流における役割などについて、港のことをより一層知っていただくため、「四日市みなと講座」を企業、関係機関等と連携して開講しました。また、2009年度に引き続き、三重大学と共同して、「親しまれる港づくりワークショップ」を開催し、「四日市旧港まち歩きマップ」を作成したほ

か、散策イベント「秋のみなとフェスタ」を社会実験として開催しました。

これからの課題等

- 四日市港の魅力や役割について、より多くの県民・市民に知っていただくため、学習機会の提供などに加えて、魅力のあるイベントの企画や情報発信の工夫が必要です。
- 港の様々な資源を活用するための取組を、多様な主体と連携して展開していく必要があります

2011年度（以降）における取組

- 展望展示室においては、多くの県民・市民にくつろいでいただけるよう、ドリンクスペースの設置・充実を行ったところであり、2011年度は土曜日と金曜日（7月～11月）を開館時間延長日とすることで、展望展示室の入場者増加を図ります。
【戦略計画 事業 20103 へ】
- 受講生に好評の「四日市みなと講座」を継続するとともに、港の語り部（案内人）を養成し、より多くの県民・市民に港のことを知っていただくための取組を行います。【戦略計画 事業 20101 へ】
- 長年、市民に親しまれている「四日市港まつり」の開催に加え、「秋のみなとフェスタ」を2011年度も引き続き県民・市民、企業、行政など多様な主体と協働して開催します。【戦略計画 事業 20101 へ】
- 四日市港の施設の魅力やイベント情報などについて、従来から行っているホームページ掲載や四日市港ニュース、展望展示室パンフレット、イベント案内などをショッピングセンター、地区市民センター等に設置依頼するとともに、「四日市みなと講座」の受講生などの協力を得て、口コミによる情報の拡大など、効果的な情報提供、情報発信に努めます。【戦略計画 事業 20103 へ】